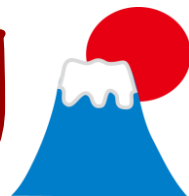


男女共同参画だより



平成31年1月発行

No.80 市民協働課男女共同参画係

「ジェンダー・ギャップ指数2018」日本は110位

ダボス会議を主催する「世界経済フォーラム」は12月18日、男女格差の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数」の報告書（2018年版）を発表しました。

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
5	ニカラグア	0.809
6	ルワンダ	0.804
7	ニュージーランド	0.801
8	フィリピン	0.799
9	アイルランド	0.796
10	ナミビア	0.789
11	スロベニア	0.784
12	フランス	0.779
13	デンマーク	0.778
14	ドイツ	0.776
15	イギリス	0.774
16	カナダ	0.771
:		
103	中国	0.673
:		
110	日本	0.662
:		
115	韓国	0.657
:		
149	イエメン	0.499

日本の項目別順位

経済活動への参加と機会……117位
教育……65位
健康と生存率……41位
政治への参加……125位

過去最低を更新した2017年（114位）より日本は4ランク浮上したものの、依然、G7で最下位となっている（アメリカ51位、イタリア70位）。

ジェンダー・ギャップが若干解消した主な背景として、世界経済フォーラムは過去1年間で職場環境が若干改善したことを上げている一方で、「日本は依然として相対的に、男女平等が進んでいない経済圏の1つ」と厳しく指摘している。

「経済的機会」分野の評価項目別の内訳では、収入での男女格差が大きいこと（103位、スコア0.527）や管理職ポジションに就いている男女の人数の差が大きいこと（129位、スコア0.152）などが大きく影響している。

【ジェンダーギャップ指数2018、日本は110位でG7最下位「日本は男女平等が進んでいない」(https://www.huffingtonpost.jp/2018/12/17/gender-gap-2018-japan_a_23618629/)】より引用。

※ジェンダー・ギャップ指数とは・・・各国の社会進出における男女格差を示す指標のこと。世界経済フォーラム（WEF）が毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命などから算出されている。スコアが「1」に近いほど格差が少ない。

市からの お知らせ

「ワーク・ライフ・バランス講座」及び 「男女共同参画講演会」を開催します！

市では平成31年2月4日（月）にワーク・ライフ・バランス講座「人生100年時代を楽しく生きるコツ～ワーク・ライフ・バランスの先に～」を、3月16日（土）に男女共同参画講演会「男女双方の視点で災害に強い地域づくりを」を開催します！

男女がともにその個性と能力を向上させ、仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現が課題となっています。

性別にかかわらず、男女がお互いに尊重し合い、理想の生活スタイルを実現するために、ワーク・ライフ・バランスについて理解を深めましょう。



男女共同参画推進セミナー

人生100年時代を 楽しく生きるコツ ～ワーク・ライフ・バランスの先に～

男女がともにその個性と能力を向上させ、仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現が課題となっています。性別にかかわらず、男女がお互いに尊重し合い、理想の生活スタイルを実現するために、ワーク・ライフ・バランスについて学びましょう。

子育て中の方や学生の方もぜひご参加ください！

平成31年2月4日（月）
参加・託児無料 [日時] ▶▶▶ 13:30～15:30
定員50名 [会場] ▶▶▶ 常総市役所 市民ホール
(1/25申込締切)

講師 佐藤 裕紀子氏

茨城大学教育学部 准教授
お茶の水女子大学家政学部卒業。
お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。学術博士。
東京家政大学、大妻女子大学、群馬大学等の非常勤講師を経て、2009年より、茨城大学教育学部准教授。専門は、家族関係学、生活経営学。
大正期の新中間層を中心とした近代家族史研究や、生活時間による家事労働のジェンダーバランス、ワーク・ライフ・バランスに関する研究に従事している。



当日のご参加も可能ですが、事前申込みにご協力下さい

常総市役所 市民協働課 TEL:0297-23-2111(内線2140)
男女共同参画係 FAX:0297-22-8864※土・日・祝日を除く
主催：常総市

男女共同参画講演会

男女双方の 視点で災害に強い 地域づくりを

常総市は震災や水害を教訓に、防災に力を入れた災害に強いまちづくりを目指しています。その中で、女性をはじめとした多様な人々の視点からの地域防災体制づくりや防災の知識の普及等について学びましょう。

平成31年
3月16日土 13:00～15:30
(受付12:30～)

参加費無料
定員200名
(3/8申込締切)

常総市生涯学習センター
常総市水海道天満町4684 TEL.0297-22-1111

無料託児サービス有り
※ご利用の方は申込時にお申し出ください。

●プログラム●

13:00	開会
13:10	講話 「平成27年9月関東・東北豪雨の災害概要と教訓・取組事項」 講師：防災危機管理監 溝上 博氏
13:45	講演 「男女双方の視点で災害に強い地域づくりを」 講師：池田 恵子氏
15:30	閉会

講師 池田 恵子氏
静岡大学教育学部教授/
静岡大学防災総合センター
兼任教員

富山県出身。専門は社会地理学。国際協力の現場を経て2000年より静岡大学教員。減災と男女共同参画推進センター共同代表。性別や多様な人々の視点に基づく防災体制づくりのための研修、教材作成、調査研究に力を入れている。内閣府防災担当ジェンダーと防災に関する有識者懇談会委員、静岡県「静岡県道所運営マニュアル」改訂検討委員会委員、静岡市男女共同参画審議会会長。

当日のご参加も可能ですが、事前申込みにご協力下さい。

常総市役所 市民協働課 TEL:0297-23-2111(内線2140)
男女共同参画係 FAX:0297-22-8864※土・日・祝日を除く
主催：常総市 協力：女性団体じょうそう事業委員会



市では震災や水害を教訓に、防災に力を入れた災害に強いまちづくりを目指しています。その中で、女性をはじめとした多様な人々の視点からの地域防災体制づくりや防災の知識の普及等について学びましょう。

また、防災危機管理監の溝上博氏による講話もありますので、ぜひご参加ください。

お申込み・詳細については、市民協働課男女共同参画係【0297-23-2111（内線2140）】までお問い合わせください。また、当日のご参加も可能ですが、事前申し込みにご協力ください。